



10 J A 合併予備契約締結、県域合併に向けスパート!

合併するしか生き残る道はないのか

福井県の J A 一本化に県内で初めて J A 越前たけふが不参加を表明した。今後は 10 J A で合併を進めるといふ。超大型合併は組合員の総意によるものなのか。単位農協では経営を維持していくのは不可能なのか。

「私には関係ない」という組合員の無関心が一番問題だが、何のための農協合併なのか。農家にとってメリットはあるのか。 J A 一本化の「真意」を探る。

農協一本化は「特色が薄れる」 越前たけふ県内初の離脱表明

昨年 1 月から福井県内の全 J A 組合長らで合併促進協議会を発足し、議論を進めてきた「県 1 J A 構想」。昨年 11 月 27 日、第 25 回 J A 県大会が福井市の県農業会館で開かれ、来年 4 月に県内 12 J A が 1 つ

になる県 1 J A の合併基本構想を決めた。7 月に各 J A が合併総代会を開き、組合員の賛同が得られれば合併に参加するとした。 J A 県 5 連の田波俊明会長は「 J A の経営を圧迫する要因が増え、農業、

J A は転換期を迎えている。『頼れる J A』構築に向けた合併実現に全力を尽くしていただきたい」と力説した。

5 月 10 日、 J A 越前たけふ（本店越前市、富田隆組合長）が臨時理事会を開いて合併に参加しないことを県内 J A で初めて表明した。富田組合長は「意向調査の結果、地域 J A としての特色が薄れる懸念が多かったと思う。今の予測で健全経営ができるという判断ができています。役員や職員、組合員が努力すれば無謀ではない。堅実に進めたい」と説明。全組合員の意向調査を行ったのは越前たけふだけだ。

越前たけふが離脱した「県 1 J A 構想」は頓挫したが、10 J A は 6 月 27 日に合併予備契約を結び、7 月 28 日にはそれぞれが合併総代会を開き、3 分の 2 以上の賛成で成立する。1 県 1 J A は全国で初めて平成 11 年 4 月に奈良県農協（ J A ならけん）で実現。次いで翌年 4 月に香川県農協（ J A 香川県）が発足。この 4 月には沖縄県農協（ J A おきなわ）がスタート。さらに平成 27 年島根県内 11 農協が、今年 4 月山口県内 12 農協が合併。徳島県と本県が昨年秋に 1 県 1 J A 構想を決定した。

本県は新 J A 発足後半年をめどに、中央会、経済連などの連合会を統合するとしているが、奈良県の場合は経済事業と信用事業を J A ならけんが引き継ぎ、経済連と信連がなくなった。共済連は全国統

「皆に付いていけば…」の護送
船団方式では農協離れが進む

昭和35年に1万2050農協が昭和45年に半数の6049農協、20年後の平成2年に3574農協、さらに20年後の平成22年に745農協。今年3月1日現在、611農協と合併に合併を繰り返して、職員数は平成5年ピーク時の30万人から平成27年には約21万人に減少した。

本県も35市町村が合併して17市町になったように、農協も合併を繰り返して各市町村1農協から現在11農協となった。その中で、県1JA構想が以前にも持ち上がったが、JA花咲ふくいの反対で頓挫した経緯がある。

かつては専業農家も兼業農家も収入のすべてを農協に預け、公共料金や税金の支払い、住宅ローンに車のローン、

婚礼資金の借入、各種保険の加入…、すべてを農協にお願いし、農協の通帳は農家の家計簿だった。水稻の苗や農薬、農機具、電化製品もすべて農協から購入し、通帳から引き落とす。職員は支所長さんから若い職員まで顔見知りで、電話一本かければ農協さんが自宅まで飛んできてくれた。

それが、農協合併で近くの支所が廃止され、ATMが設置された。農家は高齢化しATMまで簡単に行けない、使い方も分からないお年寄りが多くなつた。介護から葬式まで農協にお願いする今こそ、農協さんには身近にいてほしい。農家の切実な声だ。

農協合併は、市町村合併と似ている。自治体を広域化することによって行財政基盤を

強化し、地方分権の推進を目的とし平成11年(1999)から政府主導で行われた「平成の大合併」。

「合併」を選んだ自治体と「単独」を選んだ自治体。自治体。「国の財政をよくするために合はしかたない。合併は時代の流れ。避けては通れない」と合併を決断したもの。は第一線を退いている。だが、合併が成功だったか、失敗だったかは10年、20年経たないと分からない。

福井市と合併した旧美山町や旧越廼村の住民からは「議員の数も減って細かいところまで住民の声が反映されない。合併しなかった方が良かった」との声も聞く。郡内4町が合併した坂井市や郡境を越えて2町が合併した若狭町の住民からは「合併した意義があったのか」との声もある。

楽な経営をしたい」が農協一本化の本音なら農協は無責任。農家を無視した合併を繰り返す農協に農家は疑問や不安を

農協数の推移

